

取り付け/クイック設定 設定マニュアル

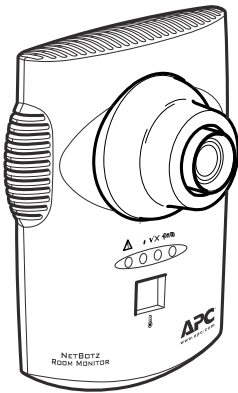
NetBotz[®] Room Monitor 455

NBWL0455/NBWL0455A

NBWL0456/NBWL0456A

990-3295H-018

発行日：9/2019



APC[™]

by Schneider Electric

APC by Schneider Electric 法的免責事項

本書に記載の情報は、APC by Schneider Electric が信頼性、無誤謬性、完全性を保証するものではありません。本書は、詳細な操作手順および用地独自の開発計画書の代替として意図されたものではありません。従って、APC by Schneider Electric は、本書の使用に基づいて発生する可能性がある損傷、法規違反、据付の誤り、システム障害、またはその他の問題に対する責任を負わないものとします。

本書に含まれる情報は「現状通り」で提供されるものであり、データセンターの設計および建設の目的のみに対応しています。本書は APC by Schneider Electric により作成されましたが、含まれる情報の完全性または正確性に関して、明示または黙示に関わらず表明するものでも保証するものでもありません。

APC BY SCHNEIDER ELECTRIC、またはその取締役、役員、代理人、従業員、会員、親会社、子会社および支社はいかなる場合も、APC BY SCHNEIDER ELECTRIC がそれらの損害の危険性を明確に通知されていた場合でも、本書またはその内容の使用または非使用に関連した、またはその結果生じた取引、契約、収入、データ、情報の損失または事業の中断を含むがこれに限定されないあらゆる直接、間接、必然的、懲罰的、特別または付随的損害に関して責任を負いません。APC BY SCHNEIDER ELECTRIC は、本書またはその形式に関して、またはその内容を事前に通知することなく変更または更新する権利を保持します。

ソフトウェア、オーディオ、ビデオ、テキストおよび写真を含むがこれに限定されない内容物の著作権、知的所有権、およびその他の所有権は APC by Schneider Electric およびそのライセンサーが保有します。本文に保証を明記されない内容物に関するあらゆる権利を保有します。あらゆる権利のライセンス付与または譲渡は認められません。また、本情報を取得した人物への権利の許可も認められません。

本書の一部または全部の再販は禁じられています。

目次

安全	1
Room Monitor 455の安全情報	1
はじめに	2
本文書の概要	3
関連文書	3
追加オプション	4
StruxureWare®認定	4
物理的概要	5
前面	5
背面	6
同梱部品	8
取り付け	10
Room Monitor 455の設置方法	10
配電盤	10
壁面取付	11
天井取付	11
ラック	12
ネットワークへのRoom Monitor 455の接続	13
Power-over-Ethernet (PoE) インジェクタ	13
PoE対応のハブまたはスイッチ	13
レンズの調整	14
初期環境設定	15
ネットワークの設定	15
ネットワーク設定に必要な情報の収集	15
DHCPによるネットワーク設定の取得	16
ターミナルエミュレータによるネットワークの設定	16
シリアルコンフィギュレーションユーティリティによる ネットワークの設定	17

機器へのアクセス	18
Web UI	18
Advanced View（詳細表示）:.....	19
ユーザアカウントの種類.....	21
クイック設定	21
機器の設定	21
Alert Actionsの設定.....	22
センサと機器の接続	24
センサとセンサポートの接続	24
機器にポッドを追加する.....	25
A-Linkポートへのセンサとセンサポッドの接続	27
無線センサネットワークの接続	28
サードパーティ製無線ネットワークデバイスの設置.....	29
USBモデムの接続.....	30
USBデジタル／IOデバイスの接続	30
Switched Rack PDUの接続.....	31
外部センサの接続.....	31
ソフトウェアのアップグレード	32
Room Monitor 455の手入れ	32
仕様	33
2年間の工場保証	34
保証の条件	34
第一購入者の保証	34
適用除外	34
保証の請求	35
電波障害	36
米国 - FCC	36
カナダ - ICES	36
日本 - VCCI.....	36
台湾 - BSMI.....	36
オーストラリアおよびニュージーランド	37
欧州連合（EU）.....	37

安全

機器の組み立て、操作、修理または保守を行う前に作業手順をよく読み、機器についてよく理解しておいてください。本マニュアル全体、または装置に示される次の特別なメッセージは、危険性に関する警告を示しているか、または、手順を明確化/簡素化した情報への注意を促しています。



「危険」または「警告」安全ラベルにこの記号が追加されている場合は、注意事項が遵守されない場合に人体への危害につながる感電の危険性があることを示します。



これは注意記号です。人体への危害の危険性があることを警告します。この記号に続くすべての安全警告に従って、人体への危害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

回避できない場合人体への危害や死亡の危険性がある、直ちに危険な状態を示します。

⚠ 警告

回避できない場合人体への危害や死亡の危険性につながるおそれがある、危険になりうる状態を示します。

⚠ 注意

回避できない場合人体の重大な損傷につながるおそれがある、危険になりうる状態を示します。

注意

環境への被害、損害の危険性またはデータの損失などを含む物理的な損害に関わりのない、注意事項を示します。

Room Monitor 455の安全情報

⚠ ⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 内部にはユーザーが修理できる部品はありません。資格を持つ技術者に修理を依頼してください。
- 室内の、乾燥した環境で使用してください。

これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または死亡につながります。

はじめに

APC by Schneider Electric NetBotz® Room Monitor 455は、NetBotzセキュリティ/環境監視システムの中核となるハードウェア機器です。Room Monitor 455は、室内のどこにでも取り付けられます。温度、湿度、気流、動きを監視する内蔵カメラと内部センサ、および温度、湿度、煙、ドア、振動、滴下、およびサードパーティ製ドライ接点用のセンサや0~5 Vセンサを接続するための4つのセンサポートが含まれます。2方向オーディオ、オーディオ検知、オーディオ録音にも対応しています。監視の範囲を拡げたい場合は、無線センサネットワークおよびNetBotzセンサホッドを2台まで追加することができます。

内蔵カメラは以下の特長を備えています。

- 最大解像度 1280 x 1024、24ビットカラー、30フレーム/秒を生成できる画像処理プロセッサ。
備考：最大フレームレートは、カメラのイメージャー（撮像器）が1秒間に作成できる画像の最大数を表します。実際のフレームレートは、利用できる帯域幅とその時点での解像度の設定により異なります。
- 画像サイズ：7.7 mm x 6.1 mm（対角、9.82 mm = 0.387インチ）。
- 視角：全解像度で、64°（H）x 53°（V）。
- 調整や交換が可能な業界規格のCSマウント型レンズ。CSマウント型の採用により、数百種にわたる汎用/専用レンズを使用することができます。

注意

本品には画像記録機能が備わっており、ソフトウェアを介してこの機能は有効になります。この画像記録機能を不適正に使用した場合、ユーザは民事および刑事罰の対象となる場合があります。かかる機能の使用に適用される法律は管轄区域により異なり、場合によっては、特に被写体本人から書面による明確な同意を要することがあります。関係法規を遵守し、且つプライバシーおよび人格に関する一切の権利を厳格に守ることはユーザ単独の責任となります。本ソフトウェアを違法な監視、観察の目的で使用することは、エンドユーザソフトウェア使用許諾契約に反する不正使用となり、ユーザのそれ以降のソフトウェア使用権が即時終結する結果となります。

本文書の概要

『*NetBotz Room Monitor 455 Installation and Quick Configuration Manual* (NetBotz Room Monitor 455 取り付け/クイック設定マニュアル)』では、NetBotz Room Monitor 355 の取り付け方法、この機器へのデバイスの接続方法、およびネットワークの設定方法を説明しています。本マニュアルの環境設定手順を実行すると、ソフトウェアインターフェイスを介してシステムにアクセスし、システムの他の環境設定を行って環境監視を開始できるようになります。

関連文書

別途記載がある場合を除き、www.apc.com の当該製品ページから下記の文書にアクセスできます。検索フィールドに目的の製品の名称または部品番号を入力すると、該当の製品のページを容易に検索できます。

NetBotz 機器ユーザーガイド: NetBotzシステムを次の機器のいずれかと併用する場合の使用、管理、環境設定の全手順が詳しく記載されています：
NetBotz Room Monitor 355 (NBWL0355/NBWL0355A)、NetBotz Rack Monitor 450 (NBRK0450)、NetBotz Room Monitor 455 (NBWL0455/NBWL0455A)、NetBotz Rack Monitor 550 (NBRK0550)、またはNetBotz Rack Monitor 570 (NBRK0570)。

リリースノート: 最新のファームウェアリリースの新機能、修正された問題、既知の問題の概要などが記載されています。

追加オプション

Room Monitor 455には、次のオプションがあります。オプションの詳細については、お買い上げいただいたAPC by Schneider Electric製品の営業担当または販売店までお問い合わせください。

- NetBotz Camera Pod 160 (NBPD0160/NBPD0160A*)
- NetBotz Rack Sensor Pod 150 (NBPD0150)
- NetBotz Room Sensor Pod 155 (NBPD0155)
- NetBotz Rack Access Pod 170 (NBPD0170)
- 温度センサ (AP9335T)
- 温度/湿度センサ(AP9335TH)
- Temperature Sensor with Digital Display (デジタルディスプレイ付き温度センサ) (AP9520T)
- 温度/湿度センサ、デジタル表示器付き (AP9520TH)
- NetBotz滴下センサ (NBES0301)
- NetBotz部屋またはサードパーティ製ラック向けドアスイッチセンサ(NBES0302)
- NetBotzドアスイッチセンサ、APC by Schneider Electricラック向け (NBES0303)
- NetBotzドライ接点ケーブル(NBES0304)、
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotz振動センサ (NBES0306)
- NetBotz Smoke Sensor (NBES0307)
- NetBotz USB-to-Serial Cable (NBAC0226)
- NetBotz Sensor Pod 120 (NBPD0122)
- NetBotz Camera Pod 120 (NBPD0121)
- NetBotz Wireless Sensor Pod 180 (NBPD0180)
- NetBotz USB Coordinator および Router (NBWC100U)
- NetBotz Wireless Temperature Sensor (無線温度センサ) (NBWS100T および NBWS100H)

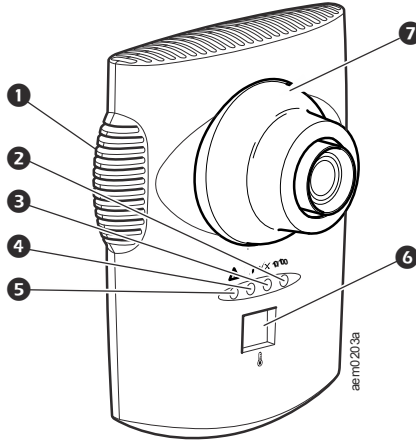
*NBPD0160A は、BotzWare™ v4.6.1以降とのみ互換性があります。

StruxureWare®認定

この製品は、StruxureWareシステムに適合していると認定されています。

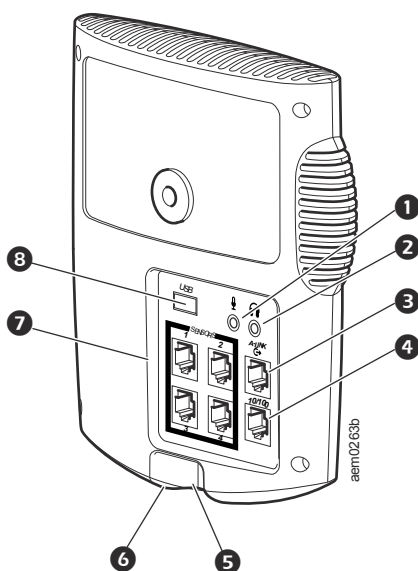
物理的概要

前面



アイテム	説明
① 温度／湿度／エアフロー検知箇所	温度、湿度、エアフローの各センサの検知用開口部です。
② ネットワークリンクLED	ネットワーク接続の状況を示します。点滅してネットワークのトラフィックを表します（緑色 = 10 Mbpsで接続、黄色 = 100 Mbpsで接続）。
③ 電源Power LED	装置が受電しているかどうかを示します（緑 = 受電中、オフ = 受電なし）。
④ カメラLED	点滅を繰り返しているときは、内蔵カメラが作動中です。
⑤ アラートLED	システムのアラート状況を示します。発生しているアラートが1つのみではない場合、最も重大なものが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・8秒ごとの点滅 = 情報提供・4秒ごとの点滅 = 警告・2秒ごとの点滅 = エラー・毎秒ごとの点滅 = 重大な故障・1秒につき2度の点滅 = 障害
⑥ 温度表示	<ul style="list-style-type: none">・現在の温度を摂氏または華氏で表示します（表示範囲は0～99）。これは内部温度センサの値です。温度が99を超えた場合は、99の表示のまま点滅します。・ユニットに最初に電源を入れた時点で固有の識別番号が1分間表示されます。・アラート状況が発生すると、アラートLEDと同じ速度で点滅します。・ファームウェアのアップグレード中は、88と表示されます。
⑦ レンズハウジング	内蔵カメラの焦点を調整するには取り外す必要があります。

背面



アイテム	説明
① マイクフォンジャック	オーディオ検知、オーディオ録音、2方向オーディオをサポートしています。マイクケーブルの最大長：3 m (9.8フィート)。
② スピーカジャック	2方向オーディオをサポートしています。スピーカケーブルの最大長：3 m (9.8フィート)。
③ A-Linkポート	NetBotz Sensor PodおよびTemperature/Humidity Sensor with Digital Displayのカスケード接続に使用します。標準のCAT-5ケーブルとストレートケーブルを介して接続された各デバイスに給電し、またデバイスの通信を可能にします。詳細については、「A-Linkポートへのセンサとセンサポッドの接続」(27ページ)を参照してください。
④ 10/100 Base-T ネットワークポート	Power-over-Ethernet (PoE) を介して10/100 Base-Tネットワーク接続ならびに電源を供給します。Status LEDとLink LEDがネットワークトラフィックを示します。 <ul style="list-style-type: none">• ステータスLED: 起動時にオレンジ色と緑色で点滅し、ネットワーク接続のステータスを示します (緑色連続点灯 = IP アドレス確立、緑色点滅 = IP アドレス取得中)。• Link LED: 点滅してネットワークのトラフィックを表します (緑色 = 10 Mbpsで接続、黄色 = 100 Mbpsで接続)。
⑤ USBポート	アプライアンスの環境設定で使用します。
⑥ リセット	アプライアンスをリセットできます。

アイテム

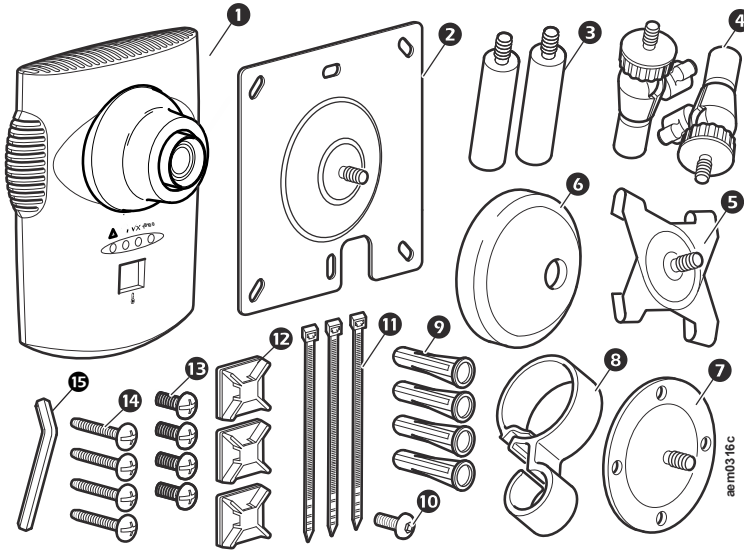
説明

- ⑦ センサポート (x 4) APC by Schneider Electric センサ、サードパーティ製ドライ接点センサ、および標準的なサードパーティ製 0-5 V センサの接続に使用。サードパーティ製のドライ接点状況センサの場合、NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304) が必要です。標準のサードパーティ製 0~5 V センサの場合、NetBotz 0-5 V センサケーブル (NBES0305) が必要です。
- ⑧ USB -A ポート USB デバイスを本アプライアンスに接続するために使用しません。

同梱部品

パッケージの内容物が輸送時に損傷していないか確認します。すべての部品が同梱されていることを確認します。輸送時の損傷が見つかった場合は直ちに運送会社に連絡してください。内容物の不足、製品の損傷、または製品に関してその他何らかの問題がある場合は、APC by Schneider Electricまたは販売店にお問い合わせください。

製品の梱包器材は再利用することができます。保管して後ほど利用するか、または適切な手段で廃棄するようにお願いいたします。



アイテム 説明

- ① NetBotz Room Monitor 455 (NBWL0455/NBWL0455A)
- ② 配電盤用ブラケット取付板
- ③ 延長アーム
- ④ ボールジョイント調整アーム
- ⑤ Tバー取付板
- ⑥ ゴム製ブラケットカバー
- ⑦ 取付板
- ⑧ ケーブルリテイナ

アイテム 説明

- ⑨ 取付ネジ用ウォールアンカ
- ⑩ 延長アーム位置決めネジ
- ⑪ 203 mm (8インチ) タイラップ
- ⑫ 粘着式ケーブルタイホルダ
- ⑬ 13 mm (0.5インチ) 小ネジ (配電盤用)
- ⑭ 19 mm タッピングねじ (壁面またはラック用)
- ⑮ アレンレンチ

図示せず

1.8 m (6フィート) IEC-320-C13およびIEC-320-C14間用電源コード
(NBWL0456/NBWL0456Aのみに付属)

1.8 m長、NEMA 5-15PおよびIEC-320-C13間用電源コード
(NBWL0456/NBWL0456Aのみに付属)

Power over Ethernetインジェクタ電源 (100-250 VAC IN、48 VDC OUT)
(NBWL0456/NBWL0456Aのみに付属)

取り付け

使用する条件に合う取付方法を選びます。以下を考慮してください：

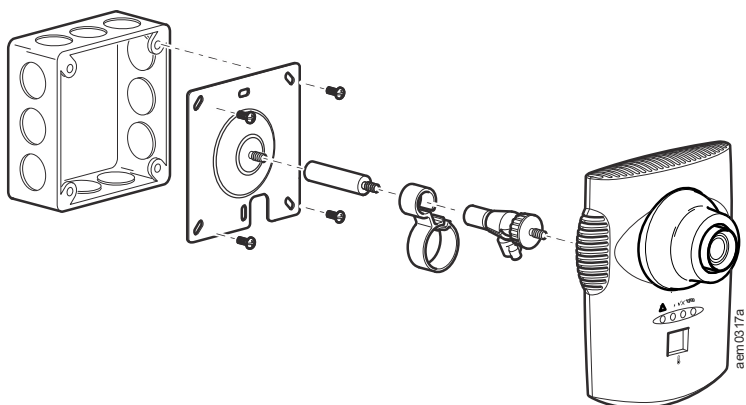
- 直近のネットワークポートがどこにあるかを考慮して判断してください。
- カメラの視角が遮られない場所を選びます。
- 本機器に接続する予定の全センサのケーブル配線を考慮してください。
- 空気の流れを測定するためのRoom Monitor 455の理想的な位置は、対向する空気に直接面している場所です。

注意

Room Monitor 455のポートには、必ず承認されたデバイスのみを本マニュアルの記載に従って接続してください。他の機器を接続すると機器が破損するおそれがあります。

Room Monitor 455の設置方法

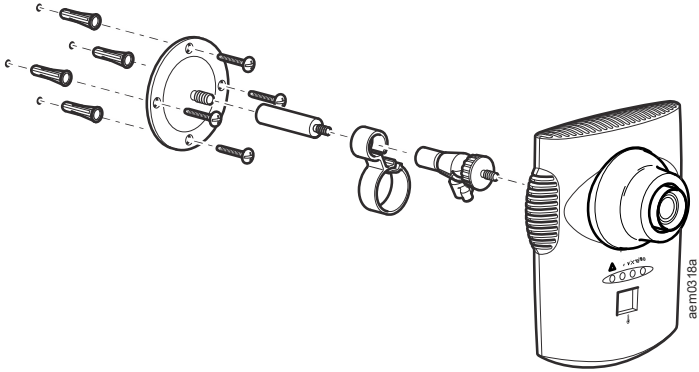
配電盤



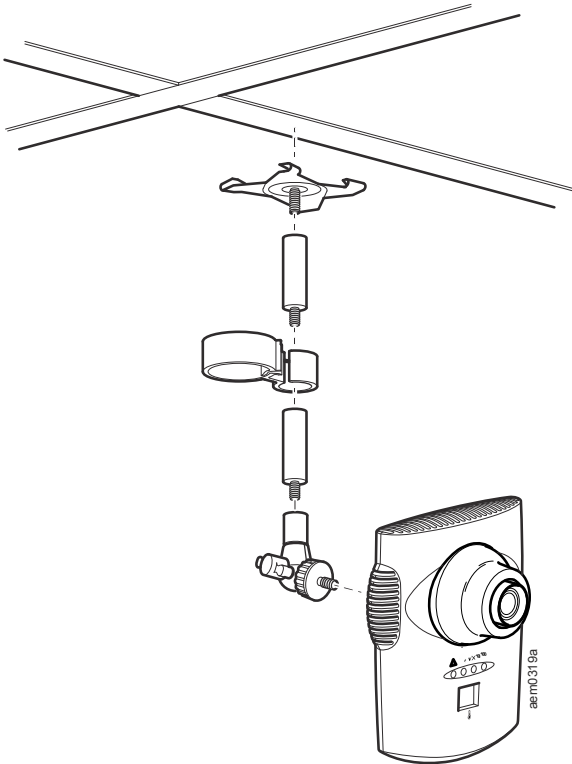
壁面取付

壁面アンカー用の4.76 mm (0.19インチ) の下穴を開けます。

備考：ただし、ネジをあまり強く締めすぎないようにしてください。

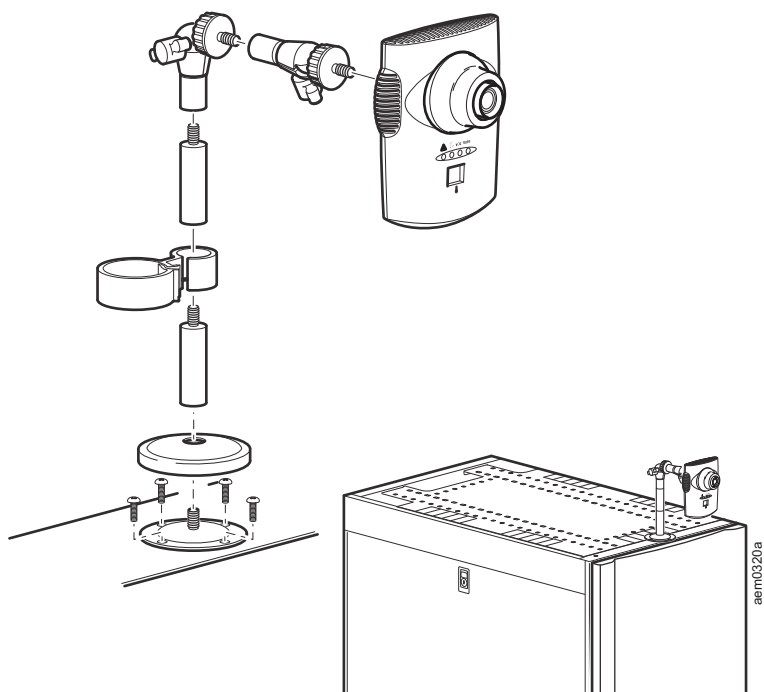


天井取付



ラック

32番ドリルで2.94 mm(0.116インチ)の下穴を4つ開けます。

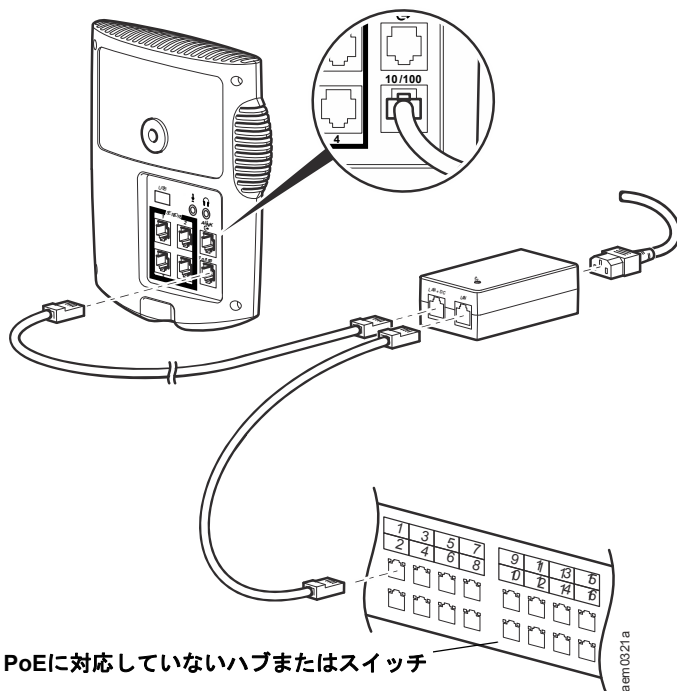


ネットワークへのRoom Monitor 455の接続

Power-over-Ethernet (PoE) インジェクタ

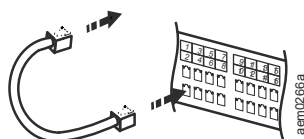
注意

- 回路の過負荷を避けるため、Room Monitor 455に印加する際は、事前に33ページの電気仕様を確認してください。
- この機器の接地は、壁コンセントに直接差し込んで接続するか、または電源タップを使用する場合は接地経路を確認して、必ず適切に行ってください。



PoE対応のハブまたはスイッチ

NetBotz 355の10/100 Base-T Networkポートへ



レンズの調整

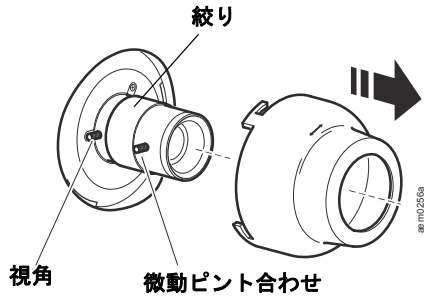
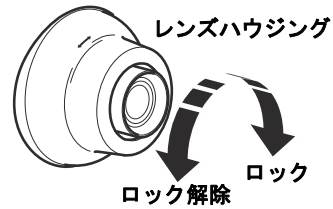
焦点と視角を正しく調節できるよう、被写体の写り具合をよく確認しながら行ってください。

調整ネジにアクセスするには、ラッチが解放されるまでレンズハウジングを左に回してハウジングを外します。

レンズハウジングを再度取り付けるには、ラッチをはめ込み、カチッという音がするまでハウジングを右に回転させます。

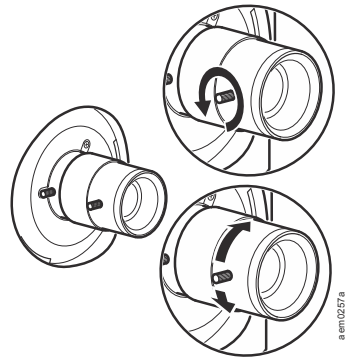
レンズの開口を大きくするには、開口部リングを右に回します。

開口を小さくするには、開口部リングを左に回します。



焦点および視角の調節：

1. 調整ネジを左に回して緩めます。
2. レンズのリングを回して希望する位置にします。
3. 調整ネジを右に回して締めます。



初期環境設定

このセクションではネットワーク設定および他の環境設定タスクの実行手順を説明します。

システムの一部としてStruxureWare Data Center Expert®を使用している場合には、このセクションの手順は無視してください。詳細については、StruxureWareデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

備考： NBWL0455Aは、BotzWare™ v4.6.1以降とのみ互換性があります。

ネットワークの設定

NetBotz 455アプライアンスをインストールする前に、まずこの機器のネットワーク設定を行う必要があります。デフォルト設定では、本アプライアンスはDHCPを使用してネットワーク設定を取得するようになっています。代わりに、ターミナルエミュレータまたはシリアルコンフィギュレーションユーティリティを使用してアプライアンスのネットワーク設定（IPアドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスク、ホスト名、NATプロキシ、速度とデュプレックスなどの設定）を行うこともできます。

シリアルコンフィギュレーションユーティリティにアクセスするには、ターミナルエミュレータを使用してルートパスワードを変更する必要があります。ルートパスワードを変更するには、「ターミナルエミュレータによるネットワークの設定」（16ページ）の手順1?4に従います。

ネットワーク設定に必要な情報の収集

ネットワーク設定を手動で行う場合は、システム管理者から以下の情報を収集してください。本アプライアンスのネットワーク設定にはこれらの情報が必要です。

- DHCPおよびIPアドレスに関して：
 - ご使用のネットワークではDHCPサーバを使用していますか？
 - DHCPサーバを使用していない場合、このアプライアンスのIPアドレスを確認してください。
- サブネットマスク：
 - アプライアンスのLANインターフェイスではサブネットマスクを使用しますか？
 - 使用する場合はサブネットマスクを確認してください。
- ゲートウェイ：
 - パケットルーティングにデフォルトゲートウェイを使用しますか？
 - 使用する場合はゲートウェイのIPアドレスを確認してください。
 - デフォルトゲートウェイがない場合は、この機器と同じサブネット上にあり常時動作しているコンピュータのIPアドレスを使用してください。トラフィックが非常に少ない場合、この機器はデフォルトゲートウェイを使ってネットワークのテストを行います。

DHCPによるネットワーク設定の取得

デフォルト設定では、本アプライアンスはDHCPを使用してネットワーク設定を取得するようになっています。アプライアンスは、ネットワークに接続し電源を投入した時点で自動的にDHCPサーバとの通信を試み、30秒間応答を待ちます。

ホスト名を供給するようDHCPサーバが設定されている場合、アプライアンスは、環境設定時に指定してあるホスト名あるいは「netbotzxxxxxx」（ここでxxxxxxがこのアプライアンスのシリアル番号の下6桁に相当）のどちらかを、DHCPサーバが認めるIPアドレスに関連づけるホスト名として要求します。これにより、追加の設定を行う必要なしに、ウェブブラウザから「http://netbotzxxxxxx」のアドレスでアプライアンスに接続できるようになります。

アプライアンスはさらに、DNSサーバアドレス、DNSドメイン、SMTPサーバアドレス、NTPサーバアドレスもDHCPサーバに要求します。

備考：DHCPサーバからアプライアンスに対しネットワーク設定が割り当てられたら、付属のマルチモデムケーブルを使用してお使いのシステムをアプライアンスに接続し、ターミナルエミュレータまたはシリアルコンフィギュレーションユーティリティを使用してネットワーク設定を参照することができます。詳細については、このページの「ターミナルエミュレータによるネットワークの設定」またはこのページの「シリアルコンフィギュレーションユーティリティによるネットワークの設定」を参照してください。

ターミナルエミュレータによるネットワークの設定

ターミナルエミュレータを使用してアプライアンスをターミナル設定するには：

1. お使いのシステムのUSBポートとNetBotzアプライアンスのUSBポートをUSBケーブルでつなぎます。
2. ポート設定38400ボー、8、1、Nを使用して、ターミナルエミュレータでシリアル接続を開きます。
3. アプライアンスのルートアカウントのユーザー名とパスワード(デフォルトではrootおよびapc)を入力します。プロンプトが表示されたらパスワードを変更します。会社のパスワード要件に準拠した強力なパスワードを使用することをお勧めします。
4. DHCPサーバによって割り当てられたネットワーク設定を使用するようにアプライアンスを設定するか、アプライアンスのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを指定します。ネットワークのNAT Proxyサーバが使用するNAT Proxy名またはIPアドレスを指定して、ユーザーがファイアウォールの外からでもこの機器にアクセスできるようにすることができます。このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスの設定を指定したり、自動ネゴシエートを使用したりすることもできます。
5. ターミナルエミュレータを閉じます。APC機器のIP接続をテストします。Webブラウザを起動し、アドレス欄に https://your_IP_address と入力します。[Enter]キーを押します。NetBotz機器がネットワークにつながっていて適切に環境設定されていると、ブラウザウィンドウに Web UI が表示されます。

シリアルコンフィギュレーションユーティリティによるネットワークの設定

シリアルコンフィギュレーションユーティリティは、Advanced View（詳細表示）とともに自動的にインストールされます（「Advanced View（詳細表示）」（19ページ）を参照）。Serial Configuration Utilityでの本機器の環境設定は次の手順で行います。

1. **スタート > プログラム > APC > シリアルコンフィギュレーション > シリアルコンフィギュレーションユーティリティ**の順にクリックしてシリアルコンフィギュレーションユーティリティを起動します。
2. USBケーブルの一方の端をコンピュータに、他方の端をNetBotz機器のConsoleポートに接続します。
3. NetBotz機器に付属の電源コードを壁コンセントに差し込み、次にAC電源インレットに接続します。

備考：NetBotz製品に付属の電源コードだけを使用してください。

アプライアンスに電源を入れると、緑のPower LEDがすぐに点灯します。ユニットは機器の環境設定により異なりますが、この後2分ほどで初期化を完了します。アラート状況がある場合は、赤のAlert LEDが点灯します。[Next] をクリックします。

4. Serial Configuration Utilityは、NetBotzアプライアンスがネットワークに接続されているかを確認するため、自動的にシステムのCOMポートをスキャンします。機器が検出されると、ウィンドウの**Device**欄のリストに該当の機器が表示されます。環境設定したい機器のオプションボタンを選択し、**Next**をクリックして続行します。

備考：USBケーブルを差し込んだポートに関連づけられているCOMポートを他のアプリケーションがその時点で使用している場合、このポートが使用不可である旨のメッセージがCOMポート脇の**Owner**欄に表示されます。これを解決するには、このCOMポートを使用しているアプリケーションを閉じ、次に**Scan Serial Ports**をクリックします。

5. [Root Password（ルートパスワード）]ウィンドウが開きます。ルートパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
6. 機器のネットワーク設定を行う上でDHCPを使用するかどうかを指定します。**Yes（はい）**または**No（いいえ）**をクリックし、**Next（次へ）**をクリックして続行します。
7. ユーティリティで機器のスキャンが行われ、機器に保存されているネットワーク設定が表示されます。このネットワーク設定は、「Ethernet Card Settings」と「DNS Settings」に分かれています。
8. 「Ethernet Card Settings」を指定します。

-DHCPサーバが指定するネットワーク設定を使用するには、

Configure automatically via DHCPを選択します。

-この機器で使用されるネットワーク設定を指定するには、**Configure using these settings**を選択し、この機器のIPアドレス、サブネットワーク、ゲートウェイアドレスを指定します。ユーザがファイアウォールの外からでもこの機器にアクセスできるようにするには、ネットワークのNAT Proxyサーバが使用するNAT Proxy名またはIPアドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスについても、値を指定するか、あるいはデフォルト設定を使用したい場合には「Auto Negotiate」を選択します。

9. 「DNS Settings」を指定します。
 - DHCPサーバーが提供するDNS設定を使用するには、[Use DHCP DNS Settings(DHCP DNS設定を使用)]を選択します。
 - この機器のDNS設定を手動で指定するには、[Use DHCP DNS Settings(DHCP DNS設定を使用)]のチェックマークを外し、ドメインとDNSサーバの情報を指定します。
10. **Next (次へ)** をクリックして設定を保存します。**Finish (完了)** をクリックして、シリアルコンフィギュレーションユーティリティを閉じます。
11. APC機器のIP接続をテストします。Webブラウザを起動し、アドレス欄に機器のIPアドレスを入力してください。[Enter]キーを押します。機器がネットワークにつながっていて適切に環境設定されていると、ブラウザウィンドウにBasic Viewが表示されます。

機器へのアクセス

ネットワークで機器が稼動するようになったら、Web UIまたはAdvanced View (詳細表示) を介して設定した機器にアクセスできます。

Web UIまたはAdvanced View (詳細表示) にアクセスする前に、ルートパスワードを変更する必要があります。ルートパスワードを変更するには、「ターミナルエミュレータによるネットワークの設定」(16ページ) の手順174に従います。

Web UI

NetBotz Web UIは、センサの読み取り値やカメラポッドでキャプチャされた画像など、アラートとデバイスの詳細に関するリアルタイムでの概要を提供します。

Web UIにアクセスするには、WebブラウザのURLアドレスバーに `https://your_appliance_ip_address` を入力します。(サポートされているWebブラウザのリストについては、www.apc.com のリリースノートを参照してください。必要に応じて、Advanced View (詳細表示) を使用してHTTPを有効にすることができます。)

ウェブページが安全ではないというメッセージが表示されることがあります。これは正常であり、ウェブUIに進むことができます。警告が生成されるのは、Webブラウザが、アプライアンスにインストールされた自己署名証明書を自動的に信頼しないためです。ただし、HTTPSを介して送信される情報の暗号化には、証明書が引き続き使用されます。デフォルトの証明書を永続的に受け入れるようにWebブラウザに指示するか、CA署名付き証明書をインストールして警告を停止することができます。証明書の詳細については、www.apc.com のユーザーガイドを参照してください。

アプライアンスにログオンします(デフォルトのユーザー名は`apc`であり、デフォルトのパスワードはルートアカウントのパスワードです)。

備考: Advanced View (詳細表示) のUsers (ユーザー) タスクを使用して、デフォルトのユーザーIDとパスワードを変更できます。

Advanced View（詳細表示）：

Advanced View（詳細表示）は単独型のアプリケーションで、ネットワークに接続されたサポート対象のコンピュータにインストールする必要があります。Advanced View（詳細表示）では、センサデータ、カメラ画像、その他の機器データがJavaカスタムアプリケーションで表示されます。Advanced View（詳細表示）ではさらに、リレー出力アクションの生成や機器の全機能の設定を実行できます。Web UIまたはAdvanced View（詳細表示）の詳細については、www.apc.comのユーザーガイドを参照してください。

備考：Advanced View（詳細表示）は、モバイルデバイスではサポートされていません。

Advanced View（詳細表示）のインストール

備考：Advanced View（詳細表示）で使用するJava Runtime Environmentは、インストール対象のターゲットですでに適切なJREがインストール済みであるかどうかに関わらず、必ずインストールします。

Microsoft® Windows® システムの場合：Windows 8、10、7 Pro、Windows Vista® Enterprise、またはWindows Vista Businessを実行しているコンピュータにアプリケーションとJREをインストールするには、www.apc.comからinstall.exeをダウンロードします。画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。

Linux システムの場合：Red Hat® Enterprise Linux® 5または7、あるいはFedora™ 12または24を実行しているコンピュータにアプリケーションとJREをインストールするには、www.apc.comからinstall.binをダウンロードします。画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。

Advanced View（詳細表示）でアプライアンスにアクセスする

Advanced View（詳細表示）を使用してアプライアンスを管理する前に、まずアプライアンスのIPアドレスまたはホスト名をアプライアンスリストに追加する必要があります。アプライアンスをアプライアンスリストに追加するには：

1. **[Add Appliance(アプライアンスの追加)]**をクリックします。[Add Host Device(ホストデバイスの追加)]ウィンドウが表示されます。
2. **[IP Address or Hostname(IPアドレスまたはホスト名)]**フィールドに、アプライアンスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
3. **[Port(ポート)]**フィールドに、このアプライアンスとの通信に使用するTCPポートを入力します。
4. SSL暗号化を使用してこのアプライアンスと通信するには、**[Connect Using SSL(SSLを使用して接続)]**を選択します。

備考：デフォルトでは、HTTPは無効になっています。HTTPを有効にするまで、このオプションを選択する必要があります。

5. 一定の非アクティブ期間があると自動的にログアウトする場合は、**[Auto Logoff(自動ログオフ)]**を選択し、提供されたフィールドでログアウトするまでのアイドル時間の長さを指定します。**[OK]**をクリックします。
信頼できない証明書の警告が表示される場合があります。これは最初の起動時には正常であり、アプライアンスに進むことができます。デフォルトの証明書は、信頼できる認証局によって署名されているのではなく、自己署名されているため、警告が生成されます。ただし、証明書では、SSLで情報を暗号化できます。**この証明書を永続的に受け入れる**ようにAdvanced View（詳細表示）に指示するか、CA署名付き証明書をインストールして警告を停止することができます。
6. アプライアンスにログオンします。(最初の起動時、**ユーザー名はapc、パスワードはルートパスワード**です)。
備考：セキュリティを高めるために、Advanced View（詳細表示）のUsers（ユーザー）タスクを使用して、デフォルトのユーザーIDとパスワードを変更します。
7. NetBotz Configuration Wizard（NetBotz設定ウィザード）が開きます。設定ウィザードの詳細について「設定ウィザード。」（20ページ）および**www.apc.com**のユーザーガイドを参照するか、**[Close(閉じる)]**を選択してアプライアンスへ移動します。

設定ウィザード。Configuration Wizardを使用すると機器で以下の設定を実行できます。

- Domain Name Server Settings（ドメイン名サーバ設定）
- Clock and Calendar Settings（クロックとカレンダーの設定）
- Region Settings（地域設定）
- Administrator User ID and Password（管理者ユーザーIDとパスワード）
- E-Mail Settings（電子メール設定）
- E-Mail Alert Notification Recipients（電子メールアラート通知送信先）

Configuration Wizardでは、最新バージョンのBotzWareが機器にダウンロードされます。

ウィザードを使用してアプライアンスの設定を完了すると、アプライアンスは適切な空気の流れがないこと、および温度と湿度の変化がないか環境を監視します。アプライアンスは、カメラが配置されている領域での動きも検出します。センサのいずれかでアラート状況が検出されると、事前に指定してある電子メールアドレスに電子メール通知が送信されます。

設定ウィザードのすべての手順を完了するまで、あるいは**Don't Show Configuration Wizard Next Time（次回からはコンフィギュレーションウィザードを表示しない）**のチェックマークをオンにするまでは、アプライアンスでAdvanced View（詳細表示）を使用するたびに設定ウィザードが起動します。このウィザードを再度起動するには、Advanced View（詳細表示）の**Tools**プルダウンリストで**Configuration Wizard**を選んでください。

ユーザアカウントの種類

アプライアンスには、事前設定された管理者アカウントとルートアカウントがあります。管理者アカウントにアクセスする前に、ルートアカウントのパスワードを変更する必要があります。ルートアカウントのパスワードを設定したら、管理者アカウントを使用して、ルートパスワードとデフォルトのユーザーID (**apc**) でWeb UIまたはAdvanced View (詳細表示) にアクセスできます。

このルートアカウントが使用されるのは、USBコンソールポートを用いて実行される機器の通信目的、つまりシリアルコンフィギュレーションユーティリティでネットワーク設定を指定する場合のみです。デフォルトのユーザーIDは「**root**」、デフォルトパスワードは「**apc**」です。

備考: ルートアカウントのユーザIDを変更することはできません。最初のログオン後、Advanced View (詳細表示) の *Change Root Password* (ルートパスワード変更) ツールを使用して、ルートアカウントのパスワードを変更できます。

クイック設定

機器の環境設定、据付を済ませて電源投入したら、Advanced View (詳細表示) で次の手順を実行します。

- **Configure Appliance Settings** : 機器の[Clock]、[DNS]、[Region]、[Network Interface] (ホストネーム、NATプロキシ、速度、デュプレックス設定)、[E-mail Servers]、[Proxy settings]を設定します。
- **Configure Alert Actions** : [Play Audio Alert] (音声警告の再生) や [Primary E-mail Notification] (電子メール通知) の警告アクションを設定します。

機器の設定

Advanced View (詳細表示) を起動し、次のAppliance Settingsタスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、ConfigurationペインのAppliance Settings領域にあります。

1. Clockの設定を行います。デフォルト設定では、機器によってシステムクロックはNTPサーバと同期するようになっています。これらのサーバへのアクセスが得られない場合は、**Clock**アイコンをダブルクリックして、NTPサーバアドレスを指定するか、またはクロック設定を手動で行ってください。
2. DNSの設定を行います。**DNS**アイコンをダブルクリックし、DNS Domainおよび少なくとも1つのDNS Serverアドレスを指定してください。
3. Regionの設定を行います。**Region**Regionアイコンをダブルクリックし、LocaleとTime Zoneを設定してください。USおよびCentral Standard Time (中央標準時) がデフォルト設定になっています。

4. 機器のホスト名を指定します。**Network Interfaces**をダブルクリックし、機器のホスト名を入力してください。ユーザがファイアウォールの外からでも機器にアクセスできるようにしたい場合には、ネットワークのNAT Proxyサーバが使用するNAT Proxy名またはIPアドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスについても、値を指定するか、あるいはデフォルト設定を使用したい場合には「Auto Negotiate」を選択します。
5. Administratorアカウントに固有のユーザー IDとパスワードを割り当てます。デフォルト設定では、Administratorアカウントのユーザー IDとパスワードは両方とも**apc**になっています。セキュリティ強化のため、**Users (ユーザー) アイコン**、**APC Admin Account (APC管理者アカウント)**の順にダブルクリックし、管理者アカウントに固有のユーザー IDとパスワードを指定します。
6. 電子メールサーバーを設定します。ここで指定する電子メールサーバーは、アラートの電子メール通知が送信される際に機器によって使用されるサーバです。**E-mail Servers**アイコンをダブルクリックし、次の項目を設定してください。
 - (オプション) **From**アドレスを指定します。
 - **[SMTP server]**フィールドにSMTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します (例、「mail.yourcompany.com」)。
 - 必要に応じて**Port**の値を指定します (デフォルト設定はポート25です)。
 - 認証および証明書の照合には**[SSL option(SSLオプション)]**を選択します。これ以降の設定についてはネットワーク管理者に連絡してください。
 - **[Test E-mail Server(電子メールサーバーのテスト)]**をクリックして電子メールアドレスを入力し、**OK**をクリックします。アラート状況が検出された場合はこのアドレスに電子メールが送信されます。テスト用の電子メール通知を受信できることを確認した後、手順を続行します。
7. ネットワークでHTTPまたはSocksプロキシサーバを使用している場合は、**Proxy**アイコンをダブルクリックしてProxy設定を行ってください。HTTPとSocksプロキシのどちらであるかが不明の場合はネットワーク管理者に確認してください。

Alert Actionsの設定

センサでしきい値が範囲外になった場合に、Camera Pod 160またはCamera Pod 120のヘッドフォン/スピーカジャックを通してアラート通知を音声で受けるか、電子メール通知で受けるかを指定することができます。

Advanced Viewを起動し、以下のPod/Alerts Settingsタスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、ConfigurationペインのPod/Alerts Settings領域にあります。

1. **Alert Actions**アイコンをダブルクリックし、[Alert Action Configuration] ウィンドウを開きます。
2. **[Add...(…を追加)]**をクリックして [Select Alert Action] ウィンドウを開き、**[Play Audio Alert(アラート音を鳴らす)]**を選択してから**OK**をクリックして [Add Alert Action(警告アクションの追加)] ウィンドウを開きます。
3. **[Alert Action Name(警告アクション名)]**フィールドに該当の警告アクションの名前 (例、「Play Audio Alert」) を入力します。

4. **[Output Device(出力デバイス)]** ドロップボックスから該当するカメラポッドを選びます。必要であれば、**Volume%**（音量）も調整します。
5. **OK**をクリックして [Add Alert Action] ウィンドウを閉じ、続行します。設定したばかりのアラートアクションが [Alert Actions] の一覧に入っているはずです。
6. 既定の警告アクションの一覧から**Primary E-mail Notification（電子メール通知）**を選び、**[Edit(編集)]**をクリックします。
7. **Include a sound clip with the alert(アラートにサウンドクリップを含める)**のチェックマークをオンにします。これにより、電子メールアラート通知にカメラ画像が含まれている場合は、音声クリップも一緒に送られるようになります。電子メール通知のファイル容量が大き過ぎて処理に困る場合は、後にこのオプションを無効にすることもできます。
8. **[Add...(…を追加)]**をクリックして、**Add E-mail Address**ウィンドウに電子メールアドレスを入力し**OK**をクリックします。
9. **OK**をクリックして [Edit Alert Action] ウィンドウを閉じ、続行します。
10. **OK**をクリックして [Alert Action Configuration] ウィンドウを閉じます。

センサと機器の接続

センサとセンサポートの接続

以下のAPC by Schneider Electricセンサを、Room Monitor 455のセンサとラベル付けされた4つのポートに接続できます：

- 温度センサ (AP9335T)
- 温度/湿度センサ(AP9335TH)
- NetBotz振動センサ (NBES0306)
- NetBotz煙センサ (NBES0307)
- NetBotz滴下センサ (NBES0301)
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotzドアスイッチセンサ、
APC by Schneider Electricラック向け(NBES0303)
- NetBotz部屋または
サードパーティ製ラック向けドアスイッチセンサ(NBES0302)
- NetBotzドライ接点ケーブル(NBES0304)、

APC by Schneider Electricセンサおよびサードパーティ製センサを4つのセンサポートに接続する場合は、以下を考慮してください：

- サードパーティ製のドライ接点センサでは、NetBotzドライ接点ケーブル (NBES0304) が必要になります。センサをケーブルに接続するには、センサの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- 標準のサードパーティ製0~5 Vセンサの場合、NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305) が必要です。センサをケーブルに接続するには、センサの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- センサケーブルの長さが足りない場合は、RJ-45カップリング（一部のセンサに付属）と標準のCAT-5ケーブルを使用して、温度/湿度センサ (AP9335TH) の場合には最大15 m (50フィート) まで、温度センサ (AP9335T) の場合には最大30.5 m (100フィート) まで、ケーブルを延長します。

A-Linkポートに接続するセンサ (Temperature Sensors with Digital Display [AP9520T]およびTemperature/Humidity Sensors with Digital Display [AP9520TH]) の場合は「「A-Linkポートへのセンサとセンサポッドの接続」(27ページ)」を参照してください。無線センサネットワークを接続するには、「無線センサネットワークの接続」(28ページ)を参照してください。

機器にポッドを追加する

NetBotz Room Monitor 455は下記のポッドをサポートしています。

- Camera Pod 120、Camera Pod 160、CCTV Adapter Pod 120を組み合わせて4台まで。(内部カメラポッドは自動的に1台としてカウントされます。)
- Sensor Pod 150、Sensor Pod 155、Sensor Pod 120、4-20mA Input Pod 120の組み合わせで合計2台まで。
- 最大2台のRack Access Pod 170 (AP9505i電源を搭載)。

備考：A-Linkポートに接続するポッド (Sensor Pod 150/155およびRack Access Pod 170ユニット) の場合、「A-Linkポートへのセンサとセンサポッドの接続」(27ページ)を参照してください。

Camera Pod、Sensor Pod 120、4-20mA Input Pod 120は機器のUSBポートに直接接続できます。または、機器にUSBハブを取り付けてからそのハブにポッドを接続しても構いません。ハブをカスケード接続してそのハブにポッドを接続することもできます。ただし、この場合にはカスケードチェーン構成の5番目以内にポッドを接続する必要があります。

注意

電源要件を満たすため、Camera Pod 160、Sensor Pod 120、CCTV Adapter Pod 120、4-20mA Input Pod 120は、**必ず**機器のUSBポートに直接取り付けるか、もしくは外部電源からの給電によるUSBハブに取り付けてください。RS232ベースのセンサやデバイスをUSBハブに接続することもできます。

機器にポッドを接続すると、この機器はBasic ViewとAdvanced View両方のインターフェイスのNavigationペインに自動的に表示されるようになります。新しく追加されたポッドは、ポッドのタイプとシリアル番号別に分類されます。

分類表示されたラベル名は、ポッドを追加した後にBasic ViewまたはAdvanced Viewで変更できます。

- CCTV Adapter Pod 120の場合は、接続したら使用の前に追加設定を行う必要があります。詳細については、このページの「CCTV Adapter Pod 120のインストールと環境設定。」を参照してください。
- 一度接続したポッドを取り外した場合、Advanced ViewのNavigationペインにある該当項目はグレー表示になります。ポッドを再び接続すると、Navigationペインの該当項目が有効になります。

CCTV Adapter Pod 120のインストールと環境設定。 :CCTV Adapter Pod 120をインストールするには、ビデオソースをポッドにある適切なDIN、BNC、またはRCAビデオ入力ジャックに接続します。USBケーブルを使用して、NetBotz機器、または機器に接続したUSBハブにポッドを接続します。USBケーブルからの高周波ノイズと放出を低減するため、USBケーブルのポッド接続側の端から51~76 mm以内にクランプ式フェライトを一個、さらに機器またはUSBハブ接続側の端から51~76 mm以内のUSBケーブルに2番目のクランプ式フェライトを取り付けます。

CCTV Adapter Pod 120とビデオソースを機器に接続したら、Advanced Viewを介してポッドの環境設定を行います。

ポッドは以下の手順で設定します：

1. Advanced Viewを開きます。**Appliance**ドロップダウンリストから、CCTV Adapter Pod 120を接続したアプライアンスのIPアドレスを選択します。
2. 管理者アカウントを使用してアプライアンスにログオンします。ログオンしたら、接続したばかりのCCTV Adapter Pod 120がNavigationペインに表示されていることを確認します。CCTV Adapter Pod 120のデフォルトのラベルは、CCTV Video Pod *serial*です（*serial*の部分はこのポッドのシリアル番号に相当します）。
3. **[Configuration(コンフィギュレーション)]**ボタンをクリックし、Camera Podsアイコン（ConfigurationペインのPod/Sensor Settingsの部分にあります）をダブルクリックします。
4. Camera Pod ConfigurationペインのCCTV Adapter Pod 120に対応する項目を選び、**[Capture(キャプチャ)]**をクリックします。
5. [Camera Capture Settings] ウィンドウが開きます。このウィンドウでCamera Pod 160の環境設定を行う際に表示される各フィールドに加えて、CCTV Adapter Pod 120の環境設定では次のもう一つの設定を使用できます。[Video Format]です。
これは、ビデオ機器から送信されるビデオ形式を指定します。可能な選択肢は、NTSC-M、NTSC-Japan、PAL-B、PAL-D、PAL-G、PAL-H、PAL-I、PAL-M、PAL-N Combination、SECAMです。
6. [Camera Capture Settings] ウィンドウにあるコントロールを使用して、該当ポッドで使用するカメラと画像キャプチャの設定を行います。現時点で選択されている**Video Format**、**Brightness**、**Contrast**、**Image Quality**の設定を使用して画像キャプチャのサンプルを表示するには、**[Apply(適用)]**をクリックしてください。[Capture] ウィンドウのサンプル画像が新しい設定値に従って更新されます。完了したら、**OK**をクリックして変更値を機器に保存します。

Advanced View Camerasペインにビデオソースが表示されているはずですが、環境設定が完了したら、このビデオソースもCamera Pod 160の場合と同様に使用できます。

A-Linkポートへのセンサとセンサポッドの接続

以下の組み合わせをカスケードできます：

- NetBotz Rack Sensor Pod 150 (NBPD0150)およびNetBotz Room Sensor Pod 155 (NBPD0155)の組み合わせで合計2台まで
- 2台のNetBotz Rack Access Pod 170 (NBPD0170)
- デジタル表示付き温度センサ(AP9520T)およびデジタル表示付き温度/湿度センサ(AP9520TH)の組み合わせで合計8台まで。

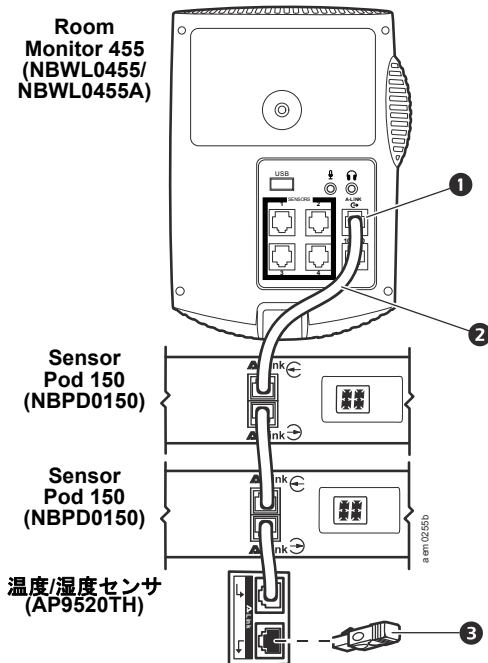
アプライアンスをカスケード接続しないでください。機器はシステムにつき1台ずつ使用します。A-Linkは、APC by Schneider Electric独自のCAN (Controller Area Network) バスです。A-Link対応のデバイスはEthernetデバイスとは互換性がなく、Ethernetバス上でハブやスイッチなど他のネットワークデバイスと一緒に使用することはできません。

この手順を実行する前に、カスケード接続しようとしているデバイスの取扱説明書の設置手順に従ってください。

注意

クロスオーバーケーブルは使用しないでください。

1. センサとセンサポッドを図のように機器に接続します(①)。
 - CAT-5 (または同等の) Ethernet/パッチケーブル(②)を使用します。
 - 図のようにINポートとOUTポートに接続します。
 - A-Linkケーブルすべての合計長が1,000 mを超えないようにしてください。
2. A-Linkターミネータを使用していないA-Linkポート(③)につなぎます。



無線センサネットワークの接続

注意

ここに一覧されているデバイスだけが、NetBotz無線センサネットワークと互換性があります。他のデバイスは機能せず、アプライアンスおよび他の無線デバイスを損傷させる可能性があります。

無線センサネットワークをRoom Monitor 455, v4.4以上に接続して、温度と湿度を監視することができます。

無線センサネットワークは、ホストアプライアンス、コーディネーター、ルーター、およびエンドデバイスで構成されます。

- **ホストアプライアンス** (Rack MonitorまたはRoom Monitor) は、無線センサネットワークからデータを収集し、センサの読み取り値に基づいてアラートを生成します。
- **コーディネーター**は、ホスト機器にUSB経由で直接接続します。ネットワーク上のセンサからのデータをレポートし、利用可能なファームウェアの更新を無線ネットワークに提供します。それぞれの無線センサネットワークには、NetBotzアプライアンスのUSBタイプAポートに接続されているコーディネーターが1台だけ必要です。
- **ルーター**は、無線センサネットワークの範囲を拡張します。ルーターは、ルーターとコーディネーターの間、およびコーディネーターとエンドデバイス間で情報を転送します。ルーターはオプションです。データセンターの環境では障害物の存在が一般的であるため、コーディネーターからセンサまでの距離が15 m (50 フィート) を超える場合は、ルーターの設置を推奨いたします。各ルーターは、NetBotzアプライアンスに直接接続されているのではなく、AC-USBアダプターによって給電されます。
- **エンドデバイス**は、接続された内部センサを監視し、ネットワークを介してホストアプライアンスにデータを送り返します。エンドデバイスは、バッテリー駆動です。

以下のデバイスを無線ネットワークで使用できます：

無線デバイス	ネットワークでの役割
USBコーディネーター & ルーター (NBWC100U)	コーディネーターまたはルーター
Wireless Sensor Pod 180 (NBPD0180)	コーディネーター、ルーター、エンドデバイス
無線温度センサ (NBWS100T/H)	エンドデバイス

備考：無線デバイスの最大到達範囲は、見通し線で30.5 m (100 フィート) です。データセンターの環境では障害物の存在が一般的であるため、一般的な到達範囲は15 m (50 フィート) です。

備考：追加のセンサをSensor Pod 180に接続できます。

NetBotz Room Monitor 455は、コーディネーターとルーターを含めて、合計48台の無線センサネットワーク上の無線デバイスをサポートします。

無線デバイスの設置と設定については、NetBotz Wireless USB Coordinator & Router、NetBotz Wireless Temperature Sensor、およびNetBotz Wireless Sensor Pod 180に付属のインストールマニュアルを参照してください。

無線デバイスのAdvanced Viewへの追加。Advanced ViewのWireless Sensor Setupタスクで、無線センサをネットワークに追加します。**[Apply Commission List(コミッションリストの適用)]**をクリックして、MACアドレスのリストをNetBotzアプライアンスに保存します。

以下の方法で、無線センサをネットワークに追加できます：

- 手動で無線センサに MAC アドレスを入力します。
- バーコードもしくはQRコードスキャナを使用して、テキストファイルに1行ごとに1つのMACアドレスを記録し、リストを保存します。リストをコピーして、ダイアログに貼り付けます。
- ハンドヘルドUSBスキャナを使用して、USBコーディネーターおよびルーターのラベルにあるMACアドレスのバーコードを手動でスキャンするか、Wireless Temperature Sensor もしくは Wireless Sensor Pod 180 のQRコードをスキャンしてダイアログに直接読み込みます。
- コーディネーターがアプライアンスに接続されたら、自動参加を使用して、無線デバイスが自動的に参加して、ネットワークを形成できるようにします。

備考：バーコードおよびQRコードスキャナによっては、次のようにパーツ番号、シリアル番号、MACアドレスが1行で返されます：

XN:NBWC100U%SN:XXXXXX123456%MAC:00C0B70000XXXXXX無線ネットワークにデバイスを追加するには、各センサの英数字のMACアドレスのみを入力します。

USBスキャナ。ドキュメントキャプチャ機能を備えたUSBスキャナを使用すると、各無線デバイスの拡張アドレス (MAC) のみが正しい形式でAdvanced Viewのリストに表示されます。

1. ドキュメントキャプチャ機能を備えたハンドヘルドUSBスキャナを、Advanced Viewを実行しているコンピュータに接続します。
2. Wireless Sensor Setupタスクの[Add Addresses(アドレスの追加)]ダイアログで[Advanced View(詳細表示)]を開いて、各無線デバイスのラベルにあるQRコードをスキャンします。
3. **[Apply Commission List(コミッションリストの適用)]**をクリックして、リストをアプライアンスに保存します。

無線デバイスの更新。すべての無線デバイスを無線ネットワークに追加すると、無線センサのWireless Sensor Setupタスクで現在のファームウェアバージョンを確認できます。更新が利用可能な場合は、ディスプレイで**[Firmware Update Available(ファームウェアの更新が利用可能)]**ボタンが有効になります。

無線デバイスの更新の詳細については、www.apc.comのユーザーガイドを参照してください。

サードパーティ製無線ネットワークデバイスの設置

サードパーティ製のワイヤレスネットワークデバイスをインストールするには、そのデバイスをEthernetケーブルで機器のEthernetポートに接続します。APC by Schneider Electricでは現在、無線EthernetブリッジのD-Link® DWL-G820をサポートしています。サードパーティ製無線ネットワークデバイスのインストールと環境設定を実行するには、該当するデバイスの取扱説明書を参照してください。

USBモデムの接続

サポートされているUSBモデムを機器に接続すると、機器のネットワーク通信機能を高めることができます。以下のUSBモデムがサポートされています：

- MultiTech[®] MultiModem[®] GPRS
- MultiTech MultiMobile[™] USB
- Option GlobeSurfer[®] iCon

USBモデムを、機器、または機器に接続したUSBハブに接続します。このモデムが機器でシリアルポートとして認識されたら、Basic Viewの*Setup* 画面またはAdvanced Viewの*Serial Devices* タスクを使用して、シリアルポートに関連付けられるモデムを指定します。モデムのモデルを指定したら、*PPP/Modem* タスクで機器をPPP通信用に設定します。

USBモデムをアンインストールしたい場合は、Advanced Viewの*Serial Devices* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

USBデジタル/IOデバイスの接続

サポートされているUSBデジタル/IOデバイスを機器に接続すると、機器に接続できるドライ接点センサの数を増やすことができます。機器と併用できるUSB digital I/Oデバイスは以下のとおりです。

- Sealevel[®] SeaLINK[®] PIO-48 (48のデジタルI/O接続を追加)
- Sealevel Seal/O 462U (96のデジタルI/O接続を追加)
- Sealevel Seal/O 463U (96のデジタルI/O接続を追加)
- Sealevel Seal/O 450U (16のデジタルI/O接続を追加)

機器にUSBデジタルI/Oデバイスを接続するには：

1. 機器の電源をオフにします。
2. USBデジタルI/Oデバイスを、機器、または機器に接続したUSBハブのいずれかに接続します。
3. 機器に電源を投入します。
4. 機器の起動処理が完了すると、デジタルI/Oデバイスの電源は、機器のシリアルポートで認識されます。Basic Viewの*Setup* 画面またはAdvanced Viewの*Serial Devices* タスクを使用して、シリアルポートに関連付けられているデジタルI/Oデバイスを指定します。
5. Advanced Viewの*Dry Contacts* タスクで、デジタルI/Oデバイスに接続したドライ接点センサの環境設定を行います。

USBデジタルI/Oデバイスをアンインストールしたい場合は、Advanced Viewの*Serial Devices* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

Switched Rack PDUの接続

APC by Schneider Electric Switched Rack PDU 79xxをアプライアンスに接続するには、Rack PDUに付属のFTDI USB-to-serialケーブルをRJ-12-to-DB9シリアルケーブル（940-0144A）に使用します。USB／シリアルケーブルを、機器、または機器に接続したUSBハブのいずれかに接続します。

USB／シリアルケーブルを機器に接続したら、使用機器と併用するためにRack PDUをこのRJ-12／DB9シリアルケーブルに接続します。

サポートされているAPC by Schneider Electric Switched Rack PDU。

現時点では、ファームウェアバージョンが2.74またはこれ以前のSwitched Rack PDUがサポートされています。

インテリジェント電源タップのインストール。USB／シリアルケーブルのシリアルポートにインテリジェント電源タップを取り付けます。Basic ViewのSetup画面またはAdvanced ViewのSerial Devices タスクを使用して、いずれのシリアルポートベースセンサを機器に接続したかを指定します。

インストールが完了すると、このデバイスに関連づけられているセンサの読み取り値がBasic ViewとAdvanced Viewに表示されます。

インテリジェント電源タップをアンインストールしたい場合は、Advanced ViewのSerial Devicesタスクを用いて当該デバイスを削除してください。

外部センサの接続

外部センサを接続するには、センサをSensor Pod 150、Sensor Pod 155、またはSensor Pod 120のいずれかの空いているExternal Portに接続します。

備考：Sensor Pod 120にセンサを接続する場合は、センサポッドのシリアル番号（ポッド背面にあります）とポッドのExternal Portについている番号の両方を必ず記録しておいてください。後に、Sensor Podsタスクを介して機器の環境設定を行う際にこの情報が必要になります。External Portの番号はポッドのポートの上に印刷されています。

NetBotz 120 Sensor Podユニットのメス型コネクタはバージョン2タイプのNetBotz DIN標準コネクタであるため、バージョン2タイプのオス型NetBotz DIN Sensor Cableしか受けつけません。新しいバージョン3タイプの製品では標準のRJ-45コネクタが使用されています。

外部センサケーブルの長さが足りない場合は、Extension Cable for External Sensor（APC by Schneider Electric販売店から15 m長または30 m長のいずれかをお求めください）を使用してケーブルを延長してください。

外部センサのインストールが完了したら、外部センサを使用できるよう、Sensor Podsタスクを介して機器の環境設定を行ってください。機器の環境設定が済むと、Navigationペインで温度センサの接続先のポッドを選択したときに、Sensor Dataペインに該当の温度センサが表示されるようになります。Advanced ViewのSensor Podsタスクを使用して、この外部センサのしきい値を指定してください。

ソフトウェアのアップグレード

Advanced ViewのUpgradeタスクを使用して、アプライアンスでBotzWareをアップグレードできます。以下のソフトウェアパックをアプライアンスに追加できます：

- Advanced Software Pack、これには次の機能が含まれます。
 - カメラ画像のマスキングをブロックアウト
 - クリップ電子署名
 - オーディオ機能強化
 - 機器ロケーションの詳細情報
 - 定義可能なユーザ/ユーザ機能の追加
- 5 Node Scanner/IPMI Pack、このパックではIPMIとSNMPのスキャナ統合機能が提供されます

備考：機器をアップグレードすると、接続されているポッドも自動的に更新されます。ネットワークで複数の機器を運用している場合は、機器全機でアップグレードを実行する必要があります。アップグレード中はデータ参照ができなくなります。

Room Monitor 455の手入れ

デバイスを清掃するには、乾いた清潔な布で表面をそっと拭いてください。

仕様

電源系統

定格入力電圧	48 VDC (Power-over-Ethernet (PoE))
--------	------------------------------------

最大消費電力	15 W
--------	------

寸法・重量

寸法 (H×W×D)	210×170×94 mm (8.3×6.7×3.7 インチ)
------------	---------------------------------

重量	0.64 kg (1.40 lb)
----	-------------------

周辺環境

高度 (平均海面以上)	
作動時	0 ~ 3,000 m (0 ~ 10,000 フィート)
保管時	0 ~ 15,000 m (0 ~ 50,000 フィート)

温度	
作動時	0 ~ 45 °C (32 ~ 113 °F)
保管時	-15 ~ 65 °C (5 ~ 149 °F)

相対湿度	
作動時	10 ~ 90%、結露なし
保管時	10 ~ 90%、結露なし

準拠規格

CE、FCC Part 15 Class A、ICES-003 Class A、VCCI Class A、EN 55022 Class A、EN 55024、AS/NZS CISPR 22

2年間の工場保証

本保証は、購入された製品を本書に従って使用した場合にのみ適用されます。

保証の条件

APC by Schneider Electricは、お客様のご購入日から2年間、製品に原材料や作業工程の欠陥がないことを保証します。APC by Schneider Electricは本保証の対象製品の欠陥を修理または交換するものとします。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はまったく適用されません。本項に記載の欠陥製品または部品の修理や交換により元の保証期間が延長されることはありません。本保証下で供給される部品は、新品または工場で作られたものである場合があります。

第一購入者の保証

本保証は、適切に製品のユーザー登録を行った購入者にのみ適用されます。本製品の登録は、APC by Schneider ElectricのWebサイト (www.apc.com) から行ってください。

適用除外

申し立てられた製品の欠陥がAPC by Schneider Electricのテストまたは検査の結果存在しないと判明された場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、テストによるものであることが判明した場合、APC by Schneider Electricは保証下での責任を負わないものとします。さらに、欠陥が承認されていない修理または変更の試み、電源電圧または接続の誤用または不適切な、不適切な実地運転環境、侵食性の外気、外環境への被曝、不可抗力、火災、盗難、またはAPC推奨/指定の方法に反する設置によるものである場合、APCシリアル番号が改竄、摩損、消去された場合、あるいは意図された使用の範囲を超えるその他の原因によるものである場合は、APC by Schneider Electricは保証下での責任を負わないものとします。

この契約に基づき、またはここに記載された条件に同意の下で購入、サービス、設置をした製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。APC BY SCHNEIDER ELECTRICは、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証についてはすべてその責任を負わないものとします。APC BY SCHNEIDER ELECTRICの明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、本製品に関してAPC BY SCHNEIDER ELECTRICが提供する技術面その他のアドバイスまたはサービスからはいかなる義務または責務も派生しないものとします。以上の保証および賠償は限定的なものであり、その他の保証や賠償すべてに代わるものです。上記の記載の保証が当該保証のあらゆる不履行に対するAPC BY SCHNEIDER ELECTRICの唯一の責務であり、購入者の法的救済です。APC BY SCHNEIDER ELECTRICの保証は購入者のみに適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または怠慢、厳格責任に関係なく、APC BY SCHNEIDER ELECTRICが事前にそのような損害の可能性を通知したかどうかに関わらず、APC BY SCHNEIDER ELECTRIC、同社幹部、取締役、支社、従業員はその責任を負わないものとします。特にAPC BY SCHNEIDER ELECTRICは、利益の損失、設備の損傷、設備の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任がないことをここに明言します。

APC BY SCHNEIDER ELECTRICのセールスマン、従業員、または代理店のいかなる者も本保証の条件を追加したり、変更したりする権限を持ちません。保証の条件は、たとえ変更される場合も、APC BY SCHNEIDER ELECTRICの役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証の請求に際しては、APC by Schneider ElectricのWebサイトの「サポート」ページ (www.apc.com/support) のAPC by Schneider Electricカスタマサポートにご連絡ください。ページ上部の国選択プルダウンメニューから該当する国を選び、[Support (サポート)] タブを選択すると、お住まいの地域のカスタマーサポート連絡先が記載されています。

電波障害

担当機関の明示的な承認を受けずに本製品を改変すると、本製品の使用権が取り消される可能性があります。

米国 - FCC

本製品はFCC規則パート15のクラスA デジタル機器基準に準拠しています。これらの基準は機器を商用環境で運用する際に、有害な干渉から保護することを目的に策定されています。本製品は無線周波エネルギーを生成および使用、放射しています。ユーザーマニュアルの指示に従って適切に取り付けて使用しないと、無線通信の障害となる干渉が発生する可能性があります。本製品を住宅地で利用する場合、有害な干渉が発生する可能性があります。このような干渉の解消についてはユーザー本人がその責務を負います。

静電気放電（ESD）が発生した後、機器は通常の動作に必要なサービスを再起動するのに最大2分かかる場合があります。この間、機器のWebインターフェースは使用できなくなります。DHCPサーバーなど、機器の外部に必要なサービスまたはデバイスがESD発生の影響を受ける場合、これらのデバイスも適切に再起動する必要があります。

カナダ - ICES

このクラスAデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

日本 - VCCI

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may occur, in which case, the user may be required to take corrective actions.

これは、IT機器の分野でVCCI（Voluntary Control Council for Interference）標準に準拠したClass A 製品です。この機器を住宅地で使用すると、電波障害が発生することがあります。このような場合、ユーザーは障害の解決を求められる可能性があります。

台湾 - BSMI

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

オーストラリアおよびニュージーランド

注意：これはクラスAの製品です。この製品は住宅地で電波障害を引き起こす恐れがあります。このような場合、ユーザーは適切な対応を求められる可能性があります。

欧州連合 (EU)

本製品は、EU議会指令2004/108/ECの「電磁波両立性に関する加盟国の法律の近似化」についての保護要件に適合しています。APC by Schneider Electricは、未承認の製品改造により保護要件を満足できない不具合が生じても、これに対する責任を負うことはできません。

本製品は試験の結果、CISPR 22／欧州規格EN 55022に基づくクラスA 情報技術機器の制限に準拠しています。このクラスA機器の制限は、認定を受けた通信機器との間の障害に対し妥当な保護を提供するために商用環境および工業環境から求められたものです。

注意：これはクラスAの製品です。この製品は住宅地で電波障害を引き起こす恐れがあります。このような場合、ユーザーは適切な対応を求められる可能性があります。

ワールドワイドカスタマーサポート

本製品のカスタマサポートについては、
www.apc.comにてご覧いただけます。

© 2019 APC by Schneider Electric. APC、APCロゴ、NetBotz、BotzWare、
およびStruxureWareは、Schneider Electric SEが所有する商標です。
すべてのその他のブランドは、それぞれ各社の商標です。